

第三者評価委員会結果（速報）

1. 日 時

平成31年2月22日（金）午後2時55分～午後5時

2. 場 所

名古屋合同庁舎1号館 中部運輸局運輸大会議室

3. 内 容

平成30年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価に関する二次評価等

4. コメント

- ・小中学生を対象とした無料乗車は、バスに乗ってもらう「きっかけ作り」と認識している。事業を進める上で、目的と達成したかどうかの検証が必要。
- ・増便等は市費負担が増となるが、その分の効果が得られているのかどうか。
(収支率などの数値で比較することが重要)
- ・目標未達成の理由に人口減少とあるが、これはどこの市町でも同じ悩み。
人口減少に指をくわえているのではなく、積極的な新規利用者の開拓・獲得をして欲しい。
- ・平成30年12月から大幅に再編をした犬山市だが、今更、網形成計画を策定するのか。
市民へのメッセージ性をもった計画（犬山市の地域公共交通はこうしていくなど）が必要になる。
⇒ コンサルへの委託より、地域公共交通会議内での合意形成を図りつつ策定すると良い
- ・犬山駅と総合犬山中央病院以外に、犬山市内で利用者や住民が行きたいところは無いのか。
- ・民間が運営している観光路線と、市が運営している生活路線との切り分けは素晴らしい。
- ・平成29年度自己評価の本省様式には、7台7路線による毎日運行と記載されており、平成30年度自己評価の様式には、8台8路線による毎日運行と記載されている。
この違いについて、1文で良いので、説明の記載が必要。（前年との繋がりが必要）
- ・アンケートも大切だが、職員による乗車チェック（聞き取り）や乗務員への聞き取り（利用者がどのようなことを望んでいるのか）が重要。それらから改善に繋がると良い。